



FUTURE

フューチャー株式会社 TSE 1ST SECTION:4722

FUTURE REPORT
2016
2016.01.01 - 2016.06.30

ごあいさつ

持株会社体制に移行し、 スピード感のあるグループ経営を推進します。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社グループは、「経営とITをデザインする」ことを中長期的な経営戦略に掲げ、顧客企業及び社会の未来価値を高めることを使命に事業を推進してまいりました。近年は、ITコンサルティング事業において大型案件の受注をバランス良く確保する一方で、ニューメディア&ウェブサービス事業でのオリジナルサービスの提供などの新たな価値創出の取り組みも順調に進んでいます。

こうした状況を踏まえて、当社グループは2016年4月1日付で持株会社体制へと移行しました。“新生”フューチャーでは、グループ全体の経営資源の最適配分を図り、一層の事業の進化と成長を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



フューチャー株式会社
代表取締役会長 兼 社長 グループCEO
フューチャーアーキテクト株式会社
代表取締役会長

金丸 恭文

Yasufumi Kanemaru



フューチャー株式会社
取締役副社長
フューチャーアーキテクト株式会社
代表取締役社長

東 裕二

Yuji Higashi

2016年9月

代表取締役会長 兼 社長 グループCEO

金丸 恭文

取締役副社長 ITコンサルティング統括

東 裕二

当社グループの現況及び今後の戦略について

2016年12月期 第2四半期(累計)の事業概況

2016年12月期 第2四半期のハイライト

01

**連結売上高は
前年同期比1.1%増の172.2億円**

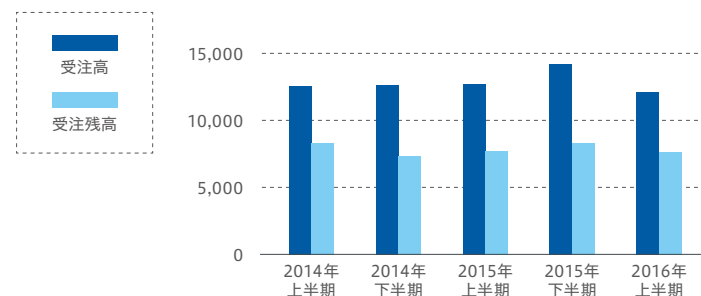
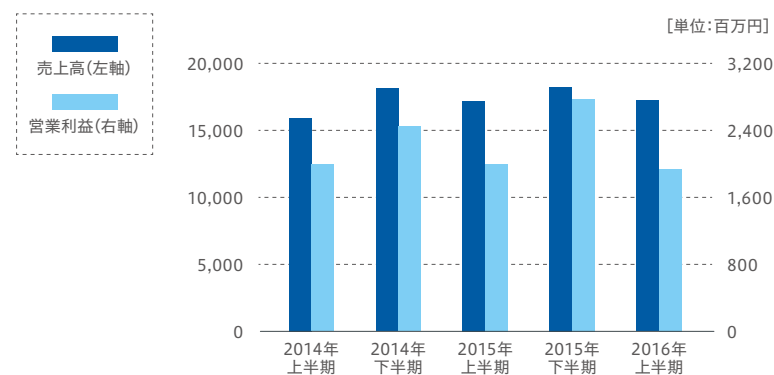
02

**連結営業利益は
前年同期比7.5%減の19.3億円**

当第2四半期(累計)の連結業績は、売上高17,225百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益1,937百万円(同7.5%減)、経常利益1,900百万円(同9.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,129百万円(同5.7%減)となりました。

ITコンサルティング及び企業活性化事業においては売上高と営業利益が前年同期比で増加したものの、パッケージ&サービス事業において新規受注やプロジェクトスタートの遅れが発生し、不採算の事業部門の整理を進めたことから、売上高と営業利益が前年同期比で減少しました。ニューメディア&ウェブサービス事業においては、前年同期比で売上が増加したものの、オンラインプログラミング教育サービス等の新規事業への投資が先行したことにより、営業利益が減少しました。

【連結】半期別業績推移



今後の成長に向けて

当社グループは、2016年4月1日付で持株会社体制に移行しました。今後はフューチャー株式会社が「賢くて俊敏でコンパクト」な持株会社として、グループ全体の経営戦略・健康戦略経営を企画・推進し、経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報・技術の最適配分を図るだけでなく、M&A戦略の企画推進やベンチャー企業の育成の中心となり、フューチャーのカルチャーの継承と進化を追求し、多様な働き方をリーディングしてまいります。

今後については、持株会社傘下のグループ会社は、引き続きビジネスの大黒柱であるフューチャーアーキテクト及び、第2、第3の大黒柱となる会社とベンチャー企業群の集団となることを目指してまいります。

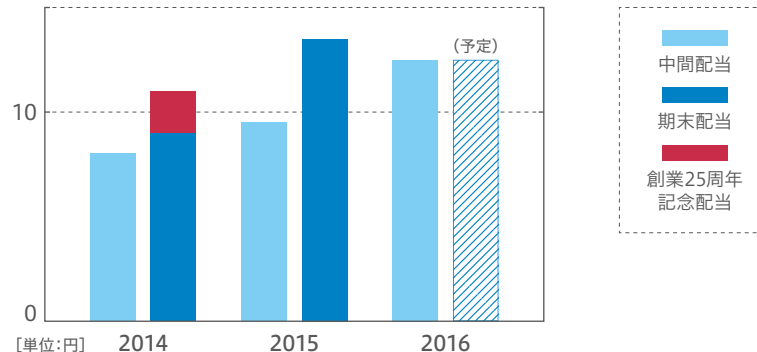
▼ [連結]2016年第2四半期実績(累計)

	2016年第2四半期実績	2016年通期計画
売上高	17,225 百万円	37,000 百万円
営業利益 営業利益率	1,937 百万円 11.3%	5,200 百万円 14.0%
経常利益 経常利益率	1,900 百万円 11.0%	5,220 百万円 14.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益 当期純利益率	1,129 百万円 6.6%	2,880 百万円 7.7%

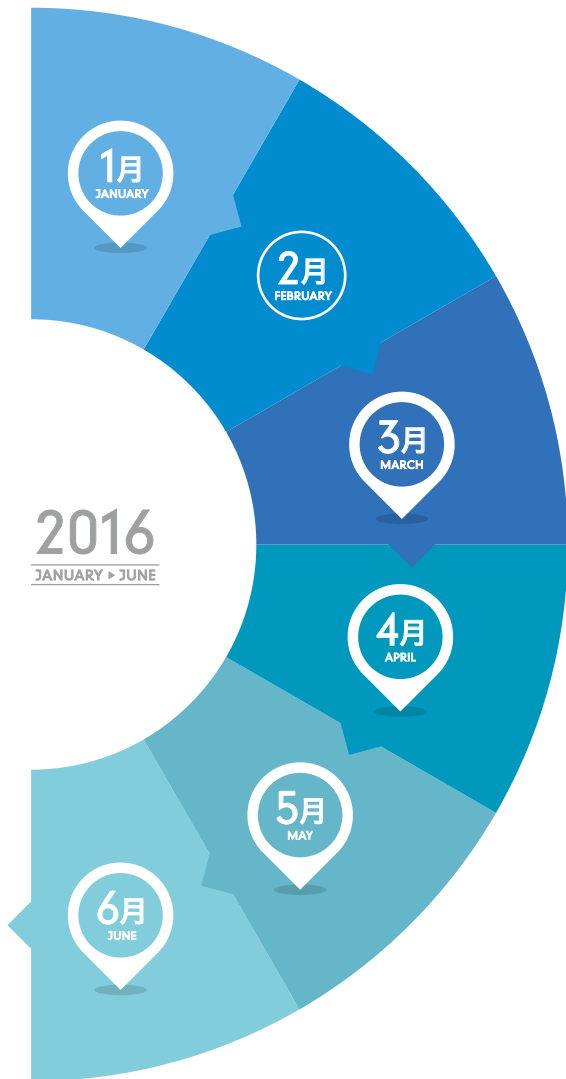
株主還元策

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と捉え、持続的な成長を図るための内部留保資金を確保しつつ、期間損益、キャッシュ・フローの状況、自己株式の買付状況等も総合的に勘案して、配当を実施しています。従来は、個別業績における配当性向30%以上を目安としておりましたが、一層の利益還元の充実を目指し、当期より連結業績における配当性向35%以上とする方針にいたしました。

この方針に基づき、2016年12月期の中間配当金については1株当たり12.5円をお支払いすることを決議いたしました。



今期の取り組みについてご紹介します



1月
JANUARY

フューチャーアーキテクト

マイナンバー対応型統合セキュリティシステム、
楽天証券様の顧客情報管理システムを刷新

詳細は **P07**

3月
MARCH

フューチャーアーキテクト

「SKYBANK」百十四銀行様より
次期融資支援システムの構築を受注

詳細は **P05**

4月
APRIL

フューチャーアーキテクト

サイバー攻撃対策ツール「VULS」無償公開

詳細は **P07**

5月
MAY

eSPORTS

オンラインフィットネスサービス
「ポケットジム」提供開始

詳細は **P08**

6月
JUNE

フューチャーアーキテクト

「SKYクラウドシリーズ」の展開を加速

詳細は **P06**

「SKYBANK」(金融クラウドサービス)の新規導入拡大と継続的な機能追加

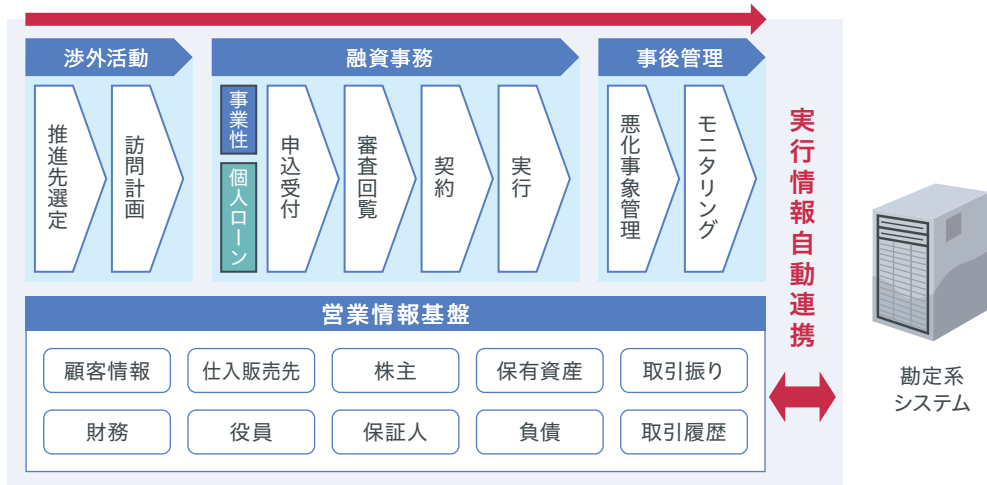
「SKYBANK」は、フューチャーアーキテクトが金融機関向けに提供する戦略業務系クラウドサービスであり、営業推進、預り資産販売、融資審査、収益管理、リスク管理、ABC管理、BI、統合データベースなどを一体的・網羅的に提供しています。

2015年からは、法人営業向け機能に加え、リテール(個人)営業向け機能の強化に取り組んでおり、2016年上半期においては、常陽銀行様の渉外・融資支援システムに無担保ローン機能を追加いたしました。また、店頭業務の対面手続きの簡略化とペーパーレス化を促進するために、タブレット端末に表示されたPDF文書に直接手書きでサインできる機能を追加しました。さらに、あおぞら銀行様の情報系データウェアハウス「Central Data Base」が稼働を開始しました。

2016年3月には新たに百十四銀行様より次期融資支援システムの構築を受注し、顧客リレーション強化のためのプラットフォーム開発が進んでいます。これにより、「SKYBANK」は、2012年12月のサービス提供開始からテンプレートモデル及びクラウドモデル合わせて6行の受注実績を確保しています。

SKYBANK

法人向けコンサルティング機能と個人向けマーケティングとダイレクトバンキングの拡充



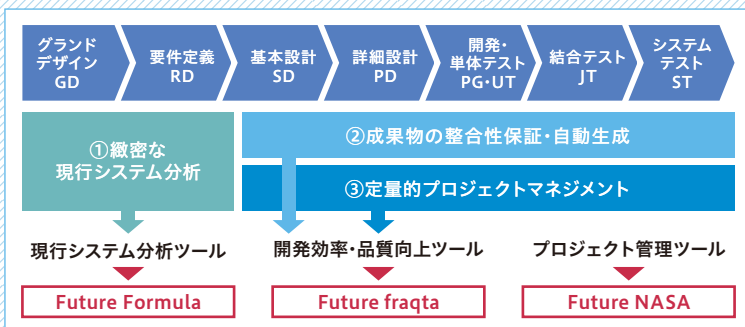
「SKYクラウドシリーズ」の展開

フューチャーアーキテクトでは、銀行向けの金融クラウドサービス「SKYBANK」に加え、今後、高度に専門化されたアプリケーションクラウドサービス「SKYクラウドシリーズ」の展開を加速していきます。

小売業・卸売業向けクラウドサービス「SKYRETAIL」、物流業務向けクラウドサービス「SKYLOGI」、EC向けクラウドサービス「SKYCOMMERCE」など業種ごとに蓄積した知見を提供するクラウドサービスと、最先端のITを駆使した大容量並列分散バッチクラウド「SKYRUNNER」などの専門化されたアプリケーションクラウドを活用することにより、お客様が経営革新・業務改革・システム改革を三位一体として実現することに貢献してまいります。

品質管理 & 品質保証

フューチャーアーキテクトは、緻密な現行システム分析を施す「Future Formula」、成果物の整合性を保証し自動生成を行う「Future fraqta」、定量的なプロジェクト管理を支援する「Future NASA」の3つの自社開発ツールを社内プロジェクトに100%適用し、科学的なプロジェクト運営管理を行っています。



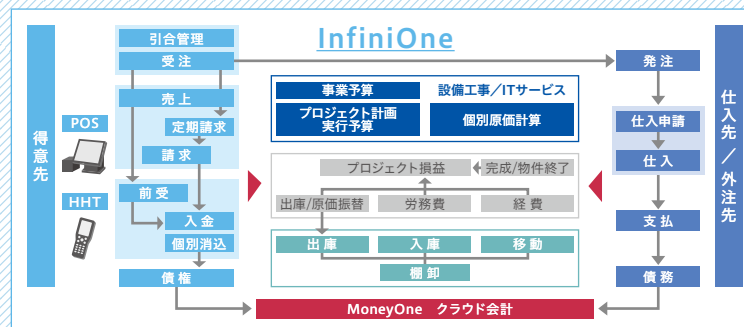
SKYクラウドシリーズ

⇒ 高度に専門化されたアプリケーションクラウドサービス

- SKYBANK
- SKYRETAIL
- SKYLOGI
- SKYCOMMERCE
- SKYRUNNER

パッケージ & サービス事業の強化

FutureOneでは2016年10月にはマルチデータベース対応で外部連携機能を強化した新ブランド「InfiniOne」の発表を予定しています。その他新クラウド会計ソフト「MoneyOne」への新機能追加、業種向けテンプレートの拡充、50社規模の販売パートナーの確保により、パッケージ & サービス事業の強化を図っていきます。



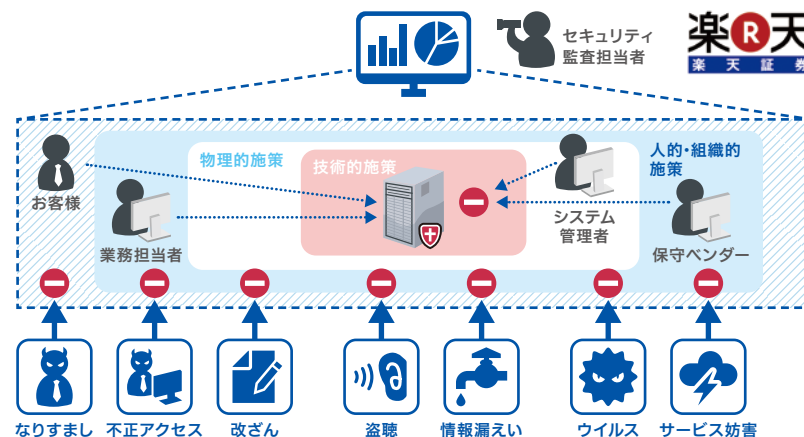
マイナンバー対応型統合セキュリティシステム

2016年1月のマイナンバー法施行を契機に、特定個人情報となるマイナンバーの収集・保管・破棄・利用に非常に高いセキュリティレベルが求められています。

特に厳格な顧客情報の運用管理体制が求められる楽天証券様に向けて、IT戦略パートナーであるフューチャーアーキテクトは、総合セキュリティ方針の策定からシステム実装までの全面的なサポートを行い、顧客情報管理システムを刷新しました。

フューチャーアーキテクトが提案する統合セキュリティシステムは、マイナンバーや秘匿性の高い情報を安心・確実に登録し、一元的に管理して「人的・組織的」「物理的」「技術的」の軸から不正アクセスや情報漏えいリスクなどのセキュリティ脅威に対して多面的な対策を施しています。また、オープンソースを組み合わせる技術を駆使して、高度で合理性のあるセキュリティレベルを実現しています。

▼ 統合セキュリティシステム



サイバー攻撃対策ツール「VULS」を無償公開

国内のサイバー攻撃(標的型攻撃)による被害件数は2014年から2015年の1年間で2倍以上に増加し、ソフトウェアの脆弱性への対応はセキュリティ上の課題とされています。フューチャーアーキテクトでは脆弱性情報の収集と検知をすべて自動化したスキャンツール「VULS」を開発し、2016年4月にオープンソースとして無償公開しました。

「VULS」は、オンプレミスとクラウドの両環境に対応し、広範なソフトウェアの脆弱性をスキャンして、日々発見される脆弱性がどのサーバに該当するかまで特定します。これにより脆弱性をリアルタイムに検知することができるようになり、サイバー攻撃のリスクを大幅に低減することができます。



eSPORTSオンラインフィットネスサービス

eSPORTSでは、2016年5月10日より、オンラインフィットネスサービス「ポケットジム(略称:ポケジム)」の提供を開始しました。物販から体験型サービスへとメニューを拡大し、ポイントの相互利用が可能です。

「ポケジム」はPCやタブレット等を利用して、プロトレーナーがマンツーマンで遠隔レッスンをを行います。体幹トレーニング、ストレッチ、ヨガなどのメニューから目的のレッスンを選択し、いつでもどこでも10分から手軽に予約できるため、仕事終わりや家事の合間などの隙間時間を上手に使って場所を選ばず本格的なレッスンを受けられます。また、レッスン終了後にもプロトレーナーがレポートやアドバイスを届けるなど、悩みや不安を解消して理想のカラダづくりをサポートします。

今後トレーニングメニューの追加やサービスの拡充を継続し、より多くのユーザーのライフスタイルへのマッチングを図ります。また、法人向けには福利厚生の一環としての採用を目指します。

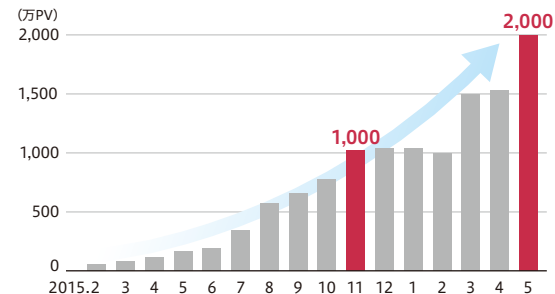


東京カレンダーWEBサービス2,000万ページビュー達成

2015年11月に月間アクセスが1,000万ページビューを超えた『東京カレンダーWEB』(<https://tokyo-calendar.jp/>)は、その後もヒットコンテンツの拡充等により新たなファン層を開拓し、2016年5月には2,000万ページビューを突破し、この6ヶ月で200%の急成長を果たしました。

◆『東京カレンダーWEB』とは2001年10月の月刊誌『東京カレンダー』創刊当時から買っている厳選主義のもと、上質で新しい都会のライフスタイルを提案するメディアサービスです。15年にわたって培われた取材力と編集力を強みに、都心の高所得者層や感度の高い女性を中心としたユーザー向けに、体験型のリアルな東京の情報をお届けするだけでなく、都内名店の味をご自宅の食卓や手土産として楽しめるECショッピングや、「絶対にはずさない」レストランのオンライン予約をはじめとする様々なサービスを提供しています。

『東京カレンダーWEB』と月刊誌『東京カレンダー』は、今後も新しい東京を発信していくとともに、より豊かで刺激的なライフスタイルを提案していきます。



フューチャーの業績・財務状況

連結貸借対照表 ー決算のポイントー

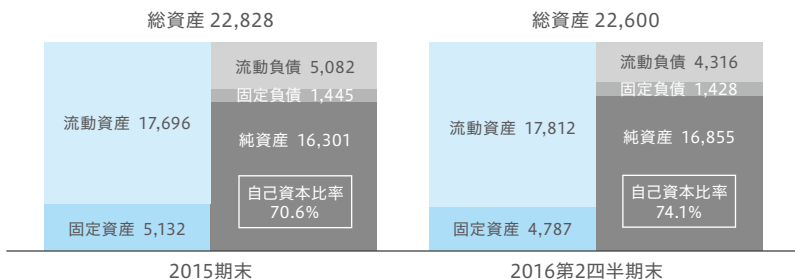
- 総資産は、受取手形及び売掛金やのれん等の減少により、前連結会計年度末比228百万円減少
- 負債は、買掛金や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末比782百万円減少
- 純資産は、利益剰余金の増加により前連結会計年度末比553百万円増加

[単位:百万円]

	前連結会計年度末 2015年12月31日現在	当第2四半期連結会計期間末 2016年6月30日現在
流動資産	17,696	17,812
固定資産	5,132	4,787
流動負債	5,082	4,316
固定負債	1,445	1,428
純資産	16,301	16,855
総資産	22,828	22,600

総資産の推移

[単位:百万円]



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。

連結損益計算書 ー決算のポイントー

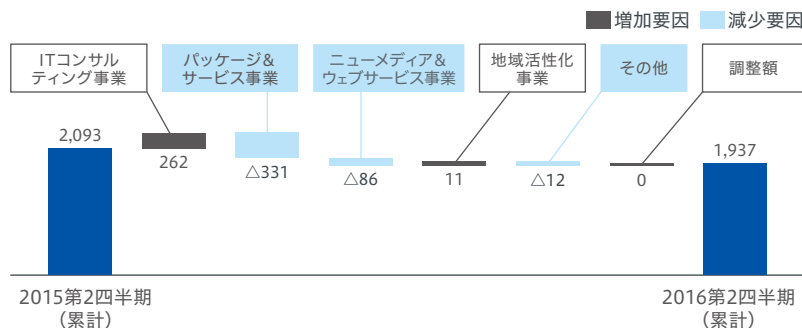
- ITコンサルティング事業において、売上・営業利益が前年同期比で増加したものの、パッケージ&サービス事業において売上高・営業利益が減少したこと等により、全体の売上高は前年同期比で増加し、営業利益は減少

[単位:百万円]

	前第2四半期連結累計期間 自2015年 1月 1日 至2015年 6月30日	当第2四半期連結累計期間 自2016年 1月 1日 至2016年 6月30日
売上高	17,033	17,225
売上総利益	6,382	6,723
販売費及び一般管理費	4,288	4,786
営業利益	2,093	1,937
経常利益	2,102	1,900
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,197	1,129

営業利益の増減要因

[単位:百万円]



※グラフを見やすくするため、数値と高さは比例していません。

連結キャッシュ・フロー計算書 ー決算のポイントー

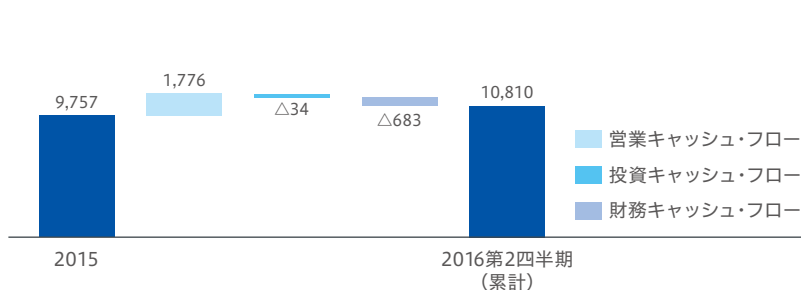
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少による収入等により、1,776百万円の収入
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払603百万円等により、683百万円の支出

[単位:百万円]

	前第2四半期連結累計期間 自2015年1月1日 至2015年6月30日	当第2四半期連結累計期間 自2016年1月1日 至2016年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,038	1,776
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△438	△683
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	△5
現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	69	1,053
現金及び現金同等物の期首残高	8,614	9,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,683	10,810

キャッシュ・フローの推移

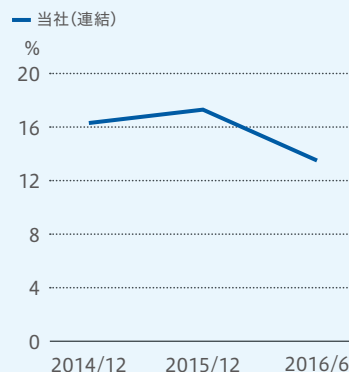
[単位:百万円]



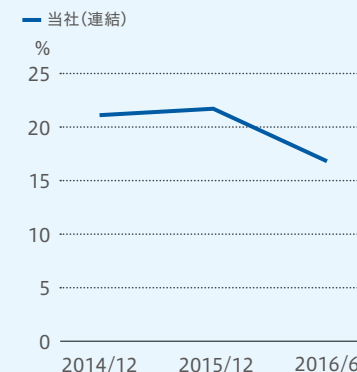
※現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しています。それにより生じるグラフの誤差については調整しています。

フューチャーの投資指標

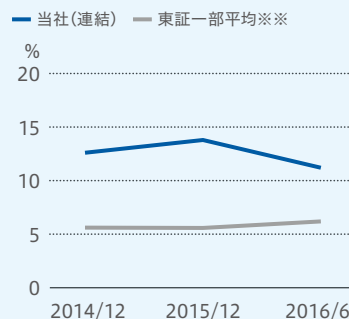
自己資本当期純利益率(ROE)※



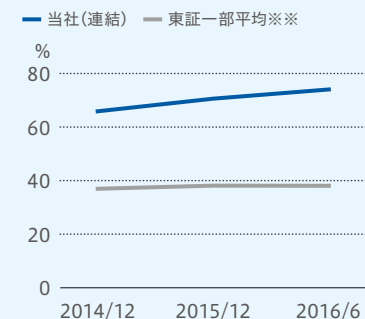
総資産経常利益率(ROA)※



売上高営業利益率



自己資本比率



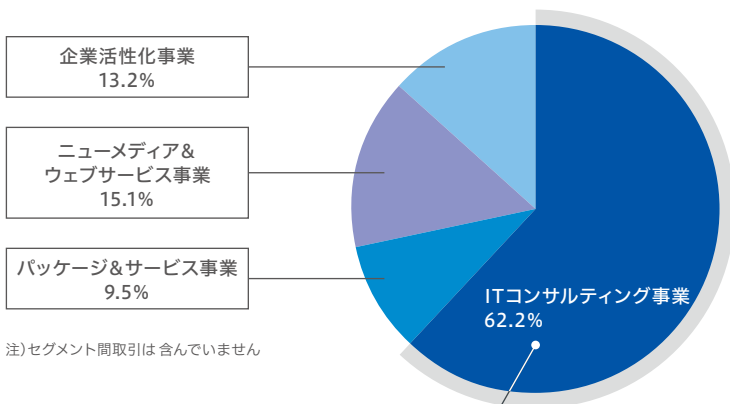
※自己資本当期純利益率・総資産経常利益率の2016年6月の数値は年率換算しております。

※※2014年3月期、2015年3月期、2016年3月期決算短信(非連結を含む)を発表した東証一部上場会社のうち、変則決算会社・各期における新規上場会社・金融業に係る集計対象会社を除いた会社の平均値。

(出典:東京証券取引所統計資料)

フューチャーのセグメント別業績・戦略

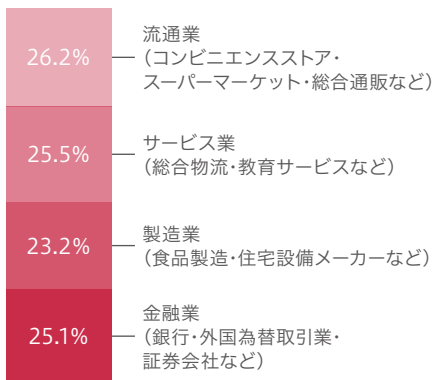
セグメント別売上高構成比 2016年第2四半期(累計)



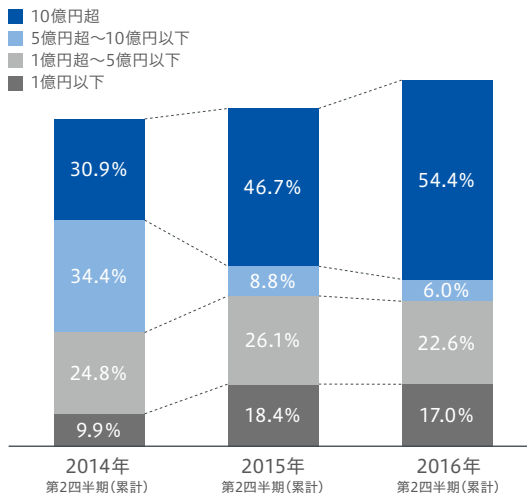
注)セグメント間取引は含んでいません

ITコンサルティング事業(単体)における業種別売上高構成比

2016年第2四半期(累計)



ITコンサルティング事業(単体)におけるプロジェクト(アカウント)規模別売上高構成比の推移



2016 上半期レビュー

ITコンサルティング事業

- 流通・サービス・製造の主要顧客のプロジェクトや地方銀行向け「SKYBANK」などの金融業のプロジェクトが好調に推移し、売上高が増加
- 独自のプロジェクト・モニタリングとマネジメント手法の改良や社員教育の徹底により、プロジェクトの品質向上と運営の効率化が進み、営業利益が増加

パッケージ&サービス事業

- FutureOneでは、一部のプロジェクトの品質問題から新規の受注が遅れ、不採算の事業部門の整理を進めたことも影響して、売上高・営業利益とも減少
- マイクロ・シー・イー・デーは自社製の総合知的財産管理システムの引き合いは多いものの、正式受注やプロジェクトスタートの遅れにより、売上高・営業利益とも減少

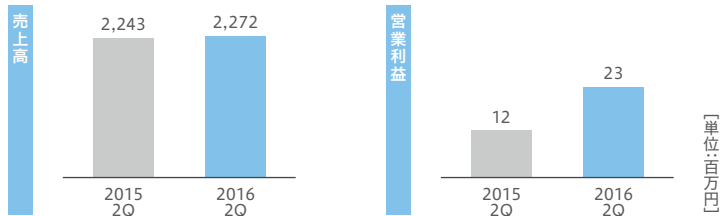
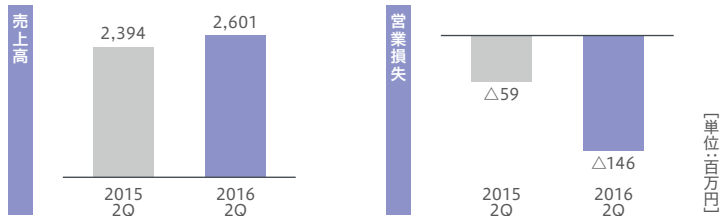
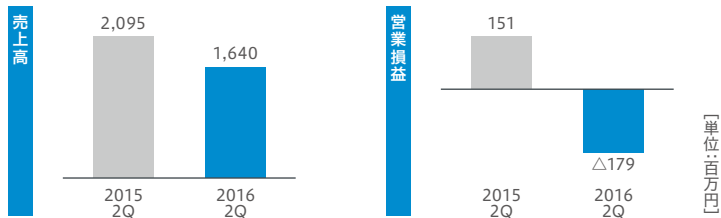
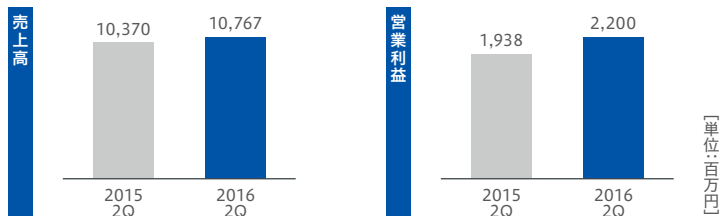
ニューメディア&ウェブサービス事業

- eSPORTSは、前年大ヒットしたフィットネス商品の取り扱いが無くなったにも関わらず、アウトドア関連商品・プライベートブランド商品のネット販売が好調で、売上高が増加
- 東京カレンダーは、5月に月間ページビューが2,000万を突破し、WEB広告収入が増加
- コードキャンプ等の新規事業はまだ投資が先行

企業活性化事業

- 焼きたてピザ販売などの来店促進策により、売上高が増加
- ITを利活用した売上、仕入、在庫量のデータ分析等の施策により粗利率が改善し、営業利益が大幅に増加

2016 上半期実績



今後の見通し

フューチャーアーキテクトでは、これまでAIを実装したシステムの設計・開発を行ってきた実績がありますが、今後についてもAI、IoT、ビッグデータを活用したより高度で最新のITシステムを提供します。また、銀行向け「SKYBANK」のみならず、小売チェーン向け「SKYRETAIL」など高度に専門化された「SKYクラウドシリーズ」の開発と提供を加速します。

フューチャーインスペースでは、フューチャーアーキテクトとの連携を高めながら、24時間365日対応など安定的で利便性の高い最先端のITオペレーションサービスを提供していきます。

FutureOneにおいては、自社製パッケージ・ソフトウェアの新ブランドの投入や機能追加などの製品ラインの刷新を加速し、ビジネスパートナーとの連携の強化により、売上高・利益の拡大を目指します。

マイクロ・シー・イー・デーは、自社製の総合知的財産管理システムのマーケティング活動を強化してパイプラインの拡大を図り、フューチャーアーキテクトと連携して製造業向けサービスの拡大を進めます。

eSPORTSは、スポーツ・アウトドア及びフィットネス商品の戦略的な仕入れやプライベートブランドの企画の強化とともに、オンラインフィットネスサービス「ポケットジム」などの新たなサービスのメニュー拡充により、収益基盤の拡大を目指します。

東京カレンダーは、月間ページビュー2,000万の知名度を活用して、リアルイベントとの連携や他社とのアライアンスを通じて、通期での黒字化を目指します。

コードキャンプでは、当社グループの知見を活用して研修サービスの拡充を図るなど、オンライン・オフライン双方でのプログラミング教育サービスの推進を図ります。

魚栄商店においては、ITシステムの利活用により、商品ごとの売上高や仕入・在庫データ分析を継続して行い、最適な商品仕入れや店舗での品揃えを実現し、売上の拡大と営業利益率の改善に取り組みます。

*2016年4月1日付で持株会社体制への移行により組織体制を整備したため、当第2四半期連結会計期間より、従来「ITコンサルティング事業」に含めていたグループ運営に係る費用をセグメント利益の調整額に費用として計上する方法に変更し、各グループ会社からの業務委託料やグループ成長支援料等をセグメント利益の調整額に収益として計上する方法に変更しています。

会社概要 (2016年6月30日現在)

会 社 名 フューチャー株式会社
 英文社名 Future Corporation
 設 立 1989年11月28日
 資 本 金 14億21百万円
 従業員数 1,678名(連結)

主要な連結子会社の状況 (2016年6月30日現在)

- フューチャーアーキテクト株式会社
- フューチャーインスペース株式会社
- FutureOne株式会社
- 株式会社マイクロ・シー・イー・デー
- 株式会社eSPORTS
- 東京カレンダー株式会社
- 株式会社魚栄商店
- フューチャーインベストメント株式会社 他11社

役員 (2016年6月30日現在)

代表取締役会長 兼 社長 グループCEO	金丸 恭文
取締役副社長 ITコンサルティング統括	東 裕二
取締役副社長 CTO&CSO	石橋 国人
取締役 フューチャー経済・金融研究所所長	原田 靖博
取締役(監査等委員)	川本 明
取締役(監査等委員)	牧 保
取締役(監査等委員)	三田村 典昭
取締役(監査等委員)	渡邊 光誠

主な事業所 (2016年6月30日現在)

本 社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー TEL : 03-5740-5721 FAX : 03-5740-5820
大崎ウエストオフィス	東京都品川区
ThinkParkオフィス	東京都品川区
大崎ウイズタワーオフィス	東京都品川区
大阪オフィス	大阪府中央区
鹿児島オフィス	鹿児島市与次郎

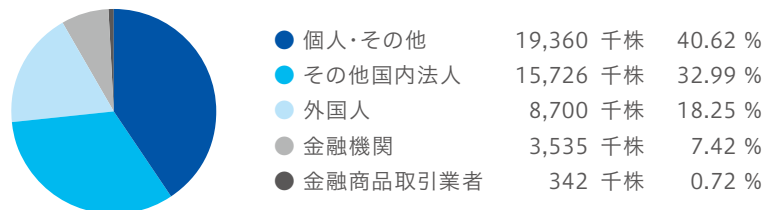
株式の状況(2016年6月30日現在)

発行可能株式総数 189,376,000株
 発行済株式の総数 47,664,000株
 株主数 6,451名

大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
(有)キー・ウェストネットワーク	11,952	25.08
金丸 恭文	7,123	14.95
フューチャー(株)	2,958	6.21
SGホールディングス(株)	2,000	4.20
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE-HCR00	1,456	3.06
(有)クロスシティ	957	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)[信託口]	955	2.01
日本マスタートラスト信託銀行(株)[信託口]	919	1.93
BBH FOR GRANDEUR PEAK INTERNATIONAL OPPORTUNITIES FUND	822	1.72
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	747	1.57

株式の所有者別状況



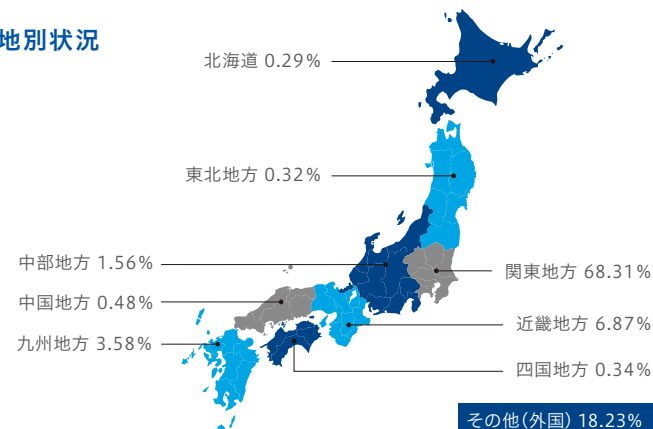
株主メモ

決算期 12月31日 配当金受領 12月31日
 定時株主総会 3月 株主確定日 中間配当を行う場合は6月30日

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 (連絡先・照会先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 フリーダイヤル: (0120) 232-711
 ホームページ: <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
 公告掲載URL <http://www.future.co.jp/hd-ir/notice/index.html>

ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合には、日本経済新聞に公告いたします。

株式の所在地別状況



○ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

注意事項

本レポートには、現時点における情報に基づいた将来にかかわる予測が含まれております。それらは今後の日本経済やITサービス業界の動向などにより、変動する可能性があります。従って、当社がその確実性を保証または約束するものではないことも予めご承知おきください。

FUTURE REPORT 2016

フューチャー株式会社

本社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2
TEL:03-5740-5721 FAX:03-5740-5820

<http://www.future.co.jp/hd>